

緊急事態においてソーシャルメディアの役割と作用に関する研究

――2020年中国新型コロナウイルス感染症事件を例に

719106 魏 萌

キーワード：緊急事態 ソーシャルメディア ニュース研究

1. 目的

現代の世界におけるソーシャルネットワークの役割は極めて重要で影響力が大きく、決してこれを無視することはできない。国民がインターネットで様々なコミュニケーション活動を行うことにより、インターネットで自分の言論を発表し、さらに事件における監督の役割になることができた。私はこの研究を通じて、現代社会の緊急事態におけるソーシャルメディアの役割を明確にしたい。またソーシャルメディアの多面性と将来の変化を分析して、将来緊急事態におけるソーシャルメディアに関する変容を予想したい。

2. 方法

ニュース分析及びアンケート調査、インタビュー調査、理論研究などの方法を行い、中国ではソーシャルメディアと緊急事態の定義と特徴論述する。そして、中国の代表的なソーシャルメディアである Weibo を中心に 2020 年中国新型コロナウイルス感染症事件におけるソーシャルメディアの役割と作用を分析する。

3. 分析結果

3. 情報化時代の発展に伴い、ソーシャルメディアは人々の生活に対して不可欠な存在になっている。中国では Weibo というアプリは Facebook と Instagram の強みを兼備しており、自分の意見を発表できる場所である。近年では、中国の政府関係アカウントも多数存在している。国民達も Weibo・WeChat などのソーシャルメディアを通じて、自分の言論と思想が発表でき、そして政府に対して国民は監督することができる。ただし、ソーシャルメディアは、共有機能が強い・集積の効果が強いなどの特徴により、「諸刃の剣」となる可能性がある。

4. 結論

本論では、具体的な状況を分析する際に、ソーシャルメディアの緊急事件の伝播過程において、政府の公式的ソーシャルメディアの主導性と個人メディアの補導性2つの特徴をまとめ、そして情報爆発下ではデマが盛行する、非理性的行為が発生するという2つの問題も発見された。将来は、人間がソーシャルメディアを掌握しているのか、それとも人間がソーシャルメディアに支配されているのか、正確に予測するのは難しい。継続的に研究してこそ、ソーシャルメディアを正しく利用して、緊急事態を正しく対処することができる。

5. 主要参考文献

遠藤 薫「ソーシャルメディアと〈世論〉形成 間メディア が世界を揺るがす」東京電機大学出版社 (2016/9/20)

乔田 「危機伝播視角下事故災難事件微博輿情引导研究--以大兴“11.18”火灾為例」